はしがき

第一部　栄光の巻：中国満州・1948年秋

はじめに　『林彪春秋』刊行にあたって …… 3

序　章　ハルビンにて …… 13

・読者の参考のために(1)　本書の軍事用語，登場人物，資料について　16

第1章　双城を発す …… 25

第2章　満州をめぐる戦後の国共両軍の相克 …… 33

1．戦後の政治情勢　33
2．満州争奪戦の開始　36
3．中国共産党の初期満州戦略　43

第3章　因縁の地，四平 …… 47

1．四平攻防の2年間　47
2．四平，攻略す　55
3．林彪の戦術原則　61
・読者の参考のために(2)　四平というところ　69

第4章　国共両軍の軍事力　大軍の完成と進発 …… 75

1．総　力　戦　75
2．政府軍の実力　77
3．共産軍の実力　84
4．大 軍 成 る　93
5．進発命令下る　102

第5章　遼瀋戦役の戦略をめぐって　毛沢東と林彪 …… 107

1．遼瀋戦役の発動　107
2．戦略はいかに決定されたか　111
3．遼瀋戦役の最終的な戦略決定　116
4．戦略作戦開始後の若干のやりとり――最終的決断は10月4日である　125
・読者の参考のために(3)　葫蘆島・錦州・義県というところ　129

第6章　蔣介石と衛立煌 …… 135

1．衛立煌の登場　135
2．アンガス・ウオードの報告書　140
3．衛立煌の苦悩――総司令官就任時の軍事的諸条件　145
4．決戦における東北剿匪総司令部　153
5．蔣介石，奔走す　154
・読者の参考のために(4)　アメリカ合衆国奉天総領事アンガス・ウオードらの報告書　162

第7章　塔山の戦い　錦州攻防戦の死命を決する局地戦 …… 173

1．錦州救援の阻止　173
2．第四縦隊　176
3．塔山の攻防　179
・読者の参考のために(5)　塔山というところ　193

終　章　歴史における遼瀋戦役：衛立煌と林彪 …… 197

(付) 林彪・東北内戦関係資料・文献 …… 205

第二部　衰亡の巻：中国北京と北戴河・1971年秋

はじめに　今，なぜ「林彪事件」なのか…… 213

プロローグ　将軍，暁のモンゴル草原に死す—「林彪事件」のイメージ …… 221

第1章　林彪の輝かしい戦歴における毛沢東の影響 …… 227

第2章　政治の表舞台への登場——毛沢東個人崇拝の旗振り役として…… 231

第3章　得意絶頂の陰で——「プロレタリア文化大革命」と中国共産党第九回大会 …… 237

第4章　廬山会議——誰が「突然の襲撃」を敢行したのか …… 251

第5章　追い詰められる林彪一派——「批陳整風運動」と幼稚な「五七一」計画 …… 259

第6章　決定打——内外政策に苦慮する周恩来の打算 …… 267

第7章　毛沢東の「南巡」と林彪の奇妙なメモ …… 277

第8章　そして「事件」は起こった——どこにもない林彪その人の姿…… 293

第９章　「林彪事件」の長い１日――北京と北戴河の間にて……　297
１．その当日　297
２．周恩来総理，動く　315
３．長い１日の終わりに――脱走劇　323

第10章　モンゴルと北京の間にて――中国外務省と駐モンゴル大使館の困惑 ……　341

エピローグ　林立衡（豆々）と張寧のその後 ……　365
（付）林彪事件関係資料・文献 ……　373

付録　余計な空想――冥界にて裁かれる人々 ……　377

後　書　き ……　419
後書きの後の言い訳 ……　424